

農産高校 定時制の進路指導

1 目標

- (1) 自己を見つめ、理解し、自己実現のために最も適した進路選択をする能力の育成
- (2) 進路先に適応し、社会の一員としての自覚をもち、自ら考え行動する能力の育成

2 指導方針

- (1) 入学時から四年間を見通し、生活指導・学習指導と連携し、計画的、継続的に行う。
- (2) 各学年と連携し、毎学期の個別相談・面談等を通して個に応じた指導を図る。
- (3) 家庭の理解と協力を深め、ハローワーク就職支援ナビゲーターやスクールカウンセラー、ユースソーシャルワーカー等と連携し支援する。

3 各学年の進路目標と取組

学年	1 学年	2 学年	3 学年	4 学年
進路目標	学校生活に慣れる	自己理解 自分の適性を知る	自らの進路の方向性を決定する	自らの進路目標を定め主体的に活動をする
行動目標	<ul style="list-style-type: none"> ① 普通科目と農業科目、それぞれの学習方法を身に付ける。 ② 基礎的な学習の学び直しと定着。 ③ クラスメイトや担任との対人関係の構築。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 農業科目の学習に主体的に取り組む。 ② 校外学習や「人間と社会」などを通して視野を広げる。 ③ 委員会、部活動、アルバイト等に積極的に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 資格取得に取り組む。 ② 自らの進路希望をもとに4年の選択科目を決定する。 ③ 委員会、部活動、アルバイト等でリーダー的な役割を果たす。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 選択科目や課題研究に主体的に取り組む。 ② 自らの進路目標を決定する。 ③ 就職活動、入試準備などに主体的かつ粘り強く取り組む。
	基本的な生活習慣の定着、教材・課題の自己管理、スマホや手帳を活用したスケジュール管理			
進路決定に向けた取組み	適性検査による性格把握	適性検査による職業適性把握	SPI 試験等 模擬試験	
	進路指導部・就職支援ナビゲーター等による進路授業、進路ガイダンス			
	進路指導部個別面談		就職支援ナビゲーター・進路指導部 個別面談	
	担任・副担任・養護教諭などとの個別面談			
支援体制	全教員、ユースソーシャルワーカー、スクールカウンセラー、ハローワーク就職支援ナビゲーター			